

豊穂川だより

編集・発行
小山市役所治水対策課
小山市中央町 1-1-1
TEL(22)9329

令和4年8月 第8号

1. 一級河川 豊穂川の整備について

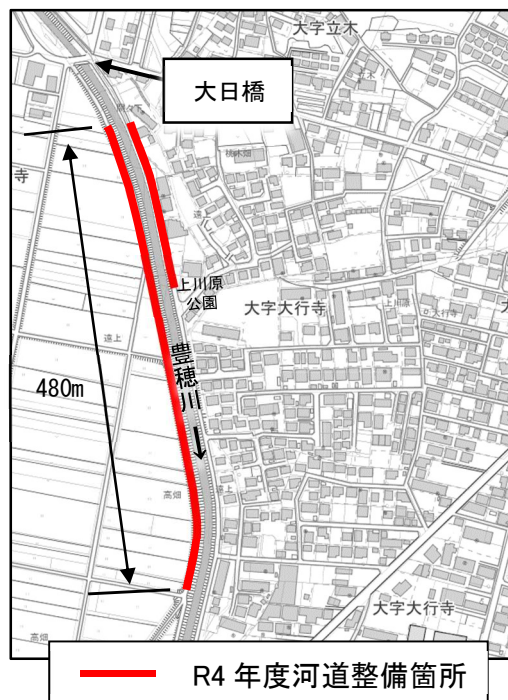
豊穂川の河道拡幅・築堤工事は、10月からの工事着手に向けて準備を進めています。今年度の工事を行う箇所は、大日橋下流の約480m区間です。

現在、河道内樹木の伐採工事を行っており、9月上旬の完了を予定しております。その後、豊穂川右岸（市街化調整区域）側に工事車両が通行するための仮設道路と築堤に必要な土の仮置き場を整備し、河道整備工事に着手する予定です。

河道整備工事の施工手順は、6月19日（日）の地元説明会資料に記載した内容とし、豊穂川堤防は、両岸が同じ高さとなるよう工事を進めていきます。

詳しい工事時期等は、施工業者決定後、改めて自治会回覧にてお知らせいたします。

引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



2. 公共下水道事業（大行寺排水区）について

「公共下水道事業（大行寺排水区）」の雨水管の整備につきましては、NO.2立坑からNO.1立坑に向かって雨水管を布設する推進工事を7月1日に開始しました。

7月中旬に、推進機が新川橋の側道橋付近に差し掛かったところ、地中の不明物が障害となり、先へ進めなくなりました。

道路管理者（栃木県）との協議を進め、不明物の試掘調査及び撤去作業を行い、早期の推進工事の再開を予定しています。

作業期間等のお知らせは、予告看板の設置にて対応させていただきます。

また、調査及び撤去の作業時は、豊穂川沿いの道路は全面通行止めに、県道は片側交互通行になり、ご不便とご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



3. 小山栃木排水路、立木排水路の整備について

小山栃木排水路（準用河川：島田放水路）は放水路の整備に向けて8月初旬に地元説明会（島田南自治会）の開催を予定しています。

立木排水路（準用河川：立木川）は調節池の整備に向けて、基本設計業務等の発注準備を行っています。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

4. 田んぼダムの取組みについて

令和3年度の取組みにつきましては、6月19日の地元説明会でご報告させていただきましたが、136ha(603箇所)を実施し、令和3年度末までに542ha(2,447箇所)の取組みが完了しました。

また、令和4年度の取組みにつきましては、6月に関係土地改良区と今年度の取組み計画及び早期完了に向けた打合せを行うとともに、田んぼの稲刈り後の落水柵設置に向けて材料の手配を進めています。また、本格的な出水期を迎えるにあたって、設置済みの田んぼダムの機能が発揮されるよう、今季も適正な管理についてご協力をお願いしました。

引続き、関係土地改良区及び農家のご協力を頂きつつ、取組み面積を広げてまいりますので、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

トピックス

令和4年6月19日に開催した豊穂川流域排水強化対策事業地元説明会では、地元の皆様から多くのご質問をいただきました。その内容と回答については、質問した方のみならず、地元の皆様にも周知を行うため、内容を整理して別紙のとおり、回覧させていただきます。

令和4年6月29日に排水ポンプ車の運用訓練を実施いたしました。運用訓練では排水ポンプ車動作確認及び署員の運転方法の確認を兼ねた訓練を行いました。



排水ポンプ車運用訓練の様子

「豊穂川だより」に関するお問い合わせ先

【一級河川 豊穂川の整備について】

小山市役所 建設水道部 治水対策課 排水強化整備係 電話 0285-22-9329

【小山栃木排水路、立木排水路の整備について】

小山市役所 建設水道部 治水対策課 排水強化企画係 電話 0285-22-9328

【公共下水道事業（大行寺排水区）について】

小山市役所 建設水道部 上下水道施設課 計画係 電話 0285-24-7617

【田んぼダムの取組みについて】

小山市役所 産業観光部 農村整備課 環境整備係 電話 0285-22-9263

小山市 HP <https://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/43/1787.html>



豊穂川流域排水強化対策事業 地元説明会 Q&A

令和4年6月19日(日)に開催した豊穂川流域排水強化対策事業地元説明会で参加した皆様からいただいた質疑応答を一覧にしてお知らせいたします。

Q

【新川橋】

新川橋は、今の橋の高さからどのくらい上がりますか。

A

新橋の橋面高さは、現橋の橋面から概ね3m程度上がる設計です。(県回答)

Q

新川橋前後の取付け道路延長も長くなりますか。

A

橋面の高さが上がることから、取付け道路延長も現在より長くなる計画です。(県回答)

Q

新川橋架け替えに伴う取付け道路と側道の整備開始位置は、具体的にどの辺りからになりますか。

A

取付け道路と側道の開始位置は、コンビニエンスストア駐車場にかからない位置から整備を行う計画にて設計を進めています。(県回答)

Q

新川橋架け替えによる周辺店舗、住宅への影響はありますか。

A

県道両側には幅員5.0mの側道の整備を行うため、用地買収の対象となる土地・建物もありません。(県回答)

Q

新川橋架け替えによる側道整備の考え方を教えてください。

A

豊穂川堤防整備により新川橋の高さも上がるため、橋前後の取付け道路も斜路となります。県道と沿線土地との間には高低差が生じるため、県道両側の土地への出入りを確保するため側道を設けます。(市回答)

Q

側道整備による周辺地区の交通への影響はどのようになりますか。

A

県道下で側道を結ぶ横断ボックスは、車の通行を考慮して高さ3.0mでの整備を検討してきましたが、橋の高さを低く抑えることで取付け道路による周辺土地への影響を可能な限り無くすよう設計を行った結果、設置可能な横断ボックスの高さは約2.3mとなりました。そのため、小山市では自転車・歩行者が安全に通行可能な高さ2.5mを確保して、自転車・歩行者用の通路として整備を行う考えです。(市回答)

Q

以前の説明では、豊穂川左岸側道路から大行寺橋方面へ県道下を通り直行できるとのことであった。
県道下に設置する横断ボックスについて、自転車・歩行者しか通れないとの説明であったが、左岸側道路や大行寺橋を整備するのであれば、横断ボックスの車の通行についてもよく検討すべきではないですか。

A

横断ボックスの車の通行については、高さ制限を設けて通行させる考えもあることから、市道路課(道路管理者)、警察と協議を行い検討を進めていきます。(市回答)

Q

新川橋架け替えに伴う迂回路が設置されるとのことですが、迂回路はどの辺りに整備されるのかを教えてください。

A

小山自動車教習所の向かい側付近から豊穂川に向けて迂回路を設置し、豊穂側へ仮橋を架けて、豊穂川右岸側を通り県道へ接続する計画です。(県回答)

Q

新川橋整備は、平面図のみでは分かりづらい。鳥瞰図のような完成予想図を作成してもらいたい。

A

現在、橋の詳細設計を行っています。詳細設計にて橋の形式が決定した後、完成予想図を作成できるか検討を進めます。(県回答)

Q

【大日橋】
大日橋とその取り付け道路は、現在よりもどのくらい高くなりますか。その場合、取り付け道路は急な勾配にはなりませんか。

A

大日橋とその取り付け道路は、現在よりも約40cm高くなる計画です。
取り付け道路は、緩やかな勾配で摺り付ける計画であり、現在とほとんど変わらず利用できるよう設計を進めています。(市回答)

Q

大日橋架け替えにより、左岸(市街化区域)側の住宅は、土地・建物への影響を受けますか。

A

大日橋架け替えによる左岸(市街化区域)側住宅の土地・建物等への影響はありません。(市回答)

Q

観晃橋方面から大日橋へ向かい、橋の手前を左折する道路との交差点は、角度が鋭角であり、見通しが悪く危険である。交差点部分を広く整備するなどの検討をお願いしたい。

A

小山市道路課では、隅切りの設置を検討しています。(市回答)

Q

【事業全体】

図面を言葉で説明されてもよく分からない。
豊穂川堤防や橋、雨水調整池など、どのようなものが出来上がるのか見て分かるように完成予想図を示してもらいたい。

A

今後、完成予想図を作成し、お示します。(市回答)

Q

現在進めている排水強化対策事業の進捗は、順調に進んでいますか。

A

一級河川豊穂川の整備は、順調に進んでいます。(市回答)

Q

【緊急排水対策】

豊穂川沿いに設置している大型土のうは、年数が経ったせいか傷んでいる。

A

大型土のうは、劣化により土のう袋が傷んでいるため、今年6月より交換する工事を行います。
(市回答)

Q

排水ポンプ車による排水訓練は行っていますか。行っている場合、実施していることを広報等で周知してもらえませんか。

A

毎年、排水ポンプ車の実動訓練を行っています。今年度も訓練は実施するので、実施後その内容については、豊穂川だよりにてお知らせします。(市回答)

Q

【要望】

大行寺地区は、道路舗装の劣化や公共下水道污水管整備の遅れが目立つ。
排水強化対策に合せての復興事業として、この地域がより魅力的になるような整備を検討し進めて行って欲しい。

A

市内のインフラ整備は遅れているのが現状です。これは県下第2位の市として恥ずかしいことであり、市民の皆様が不満を持っていることも理解しています。しっかりと行うべき事業には予算を確保して実施していきます。(市回答)

Q

栃木県では、思川本流の土砂掘削を進めているが、この地区の周辺までは来ていない。
下流から対策を講じているのは理解できるが、豊穂川との合流点付近についても計画的に進めて行って欲しい。

A

国・県では平成30年度から思川の河道掘削を進めており、特に河道幅が狭い乙女大橋、網戸大橋、石ノ上橋周辺の掘削工事を行っています。この部分の河道掘削が完了すれば、思川全体の流下能力が確保できるとお聞きしています。(市回答)

Q

小山市が取得した事業用地は雑草が延びている。
整備も重要だが、土地の維持管理にも気を配って欲しい。

A

現地確認を良く行い、除草等の維持管理を行っていきます。(市回答)

Q

思川との合流点付近では大型土のうを積んであるが、土のうには手が入る隙間があり、向こう側が見えてしまう程である。
設置してから時間も経っているため土のう袋も劣化しており、それを市に伝えたらブルーシートが掛けてあった。
設置後きちんと確認しているのか。危機管理ができる小山市であって欲しい。

A

大型土のう交換工事後も定期的に点検等を行い、適切な維持管理を行っていきます。(市回答)

お知らせ

令和4年度の豊穂川流域排水強化対策事業地元説明会も新型コロナウイルス対策のため、2回に分けて開催致しました。

説明会では質疑応答の時間を設けて、参加した皆様から様々なご意見、ご質問に対して担当課から回答を行っております。

質疑応答の内容については、他の説明会に参加された方にも知っていただくために回覧させていただきます。

貴重なご意見ありがとうございました。



問い合わせ先

治水対策課	0285-22-9328
上下水道施設課	0285-24-7617
農村整備課	0285-22-9263